

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付 **BBB+**
格付の見通し **安定的**

■格付事由

- (1) 埼玉、神奈川両県で事業展開する社会医療法人。主に急性期医療を担う東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/173床）、海老名総合病院（神奈川県海老名市/479床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352床）などを構える。2病院がある神奈川県・県央医療圏での存在感は大きい。新型コロナウイルス感染拡大には、海老名総合病院に専用病床を開設するなど積極的に対応している。関連法人の静岡メディカルアライアンスは下田メディカルセンター（静岡県下田市/142床）の指定管理を受託する。
- (2) 各医療圏で安定した事業基盤を維持している。主要施設は地域に不可欠な医療機能を手掛けており、一定の集患力がある。エリアごとの管理・執行体制の下で収支管理も徹底されている。今後も新型コロナウイルス感染者数の増減が運営に影響を及ぼすと想定されるが、病床確保料などの補助金が得られるため、財務面で負の影響が拡大する懸念は小さい。財務構成は18/3期末を底に改善傾向にある。余裕度は大きくはないが、海老名総合病院新棟の開業に向け、財務基盤の強化が進みつつあるものと考えられる。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- (3) 21年7月に海老名総合病院で発生した、新型コロナウイルス感染症のクラスターは程なく収束した。同病院では、9月にコロナ専用病床を92床へ増やす（感染状況に応じて見直される予定）など、感染拡大への対応に努めている。座間総合病院は16年の開業以来、地域へ着実に浸透してきており、収支改善が進捗している。東埼玉総合病院や訪問看護などの事業も順調である。運営に必要な人員は充足しているが、今後の医療、介護サービスの需要増やグループの機能強化を見据え、さらなる人材の確保や定着の促進が重要となろう。
- (4) 21/3期はコロナ禍の影響から4～5月を中心に患者数が減少したが、その後の収益確保に向けた取り組みの進展や補助金の受給もあり、最終利益では黒字を確保した。22/3期も同様に海老名総合病院での診療制限などに伴う収支への影響が生じるが、補助金で相当程度を補えると考えられる。財務面では、海老名総合病院新棟の建設工事が進むにつれて、有利子負債が増加する見通しである。ただ、新棟の整備は県央医療圏での事業基盤の一層の強化とキャッシュフロー創出力の向上につながると見込まれ、投資回収に懸念はないとJCRではみている。

（担当）千種 裕之・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年10月1日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「医療機関の信用格付方法」(2010年9月6日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル